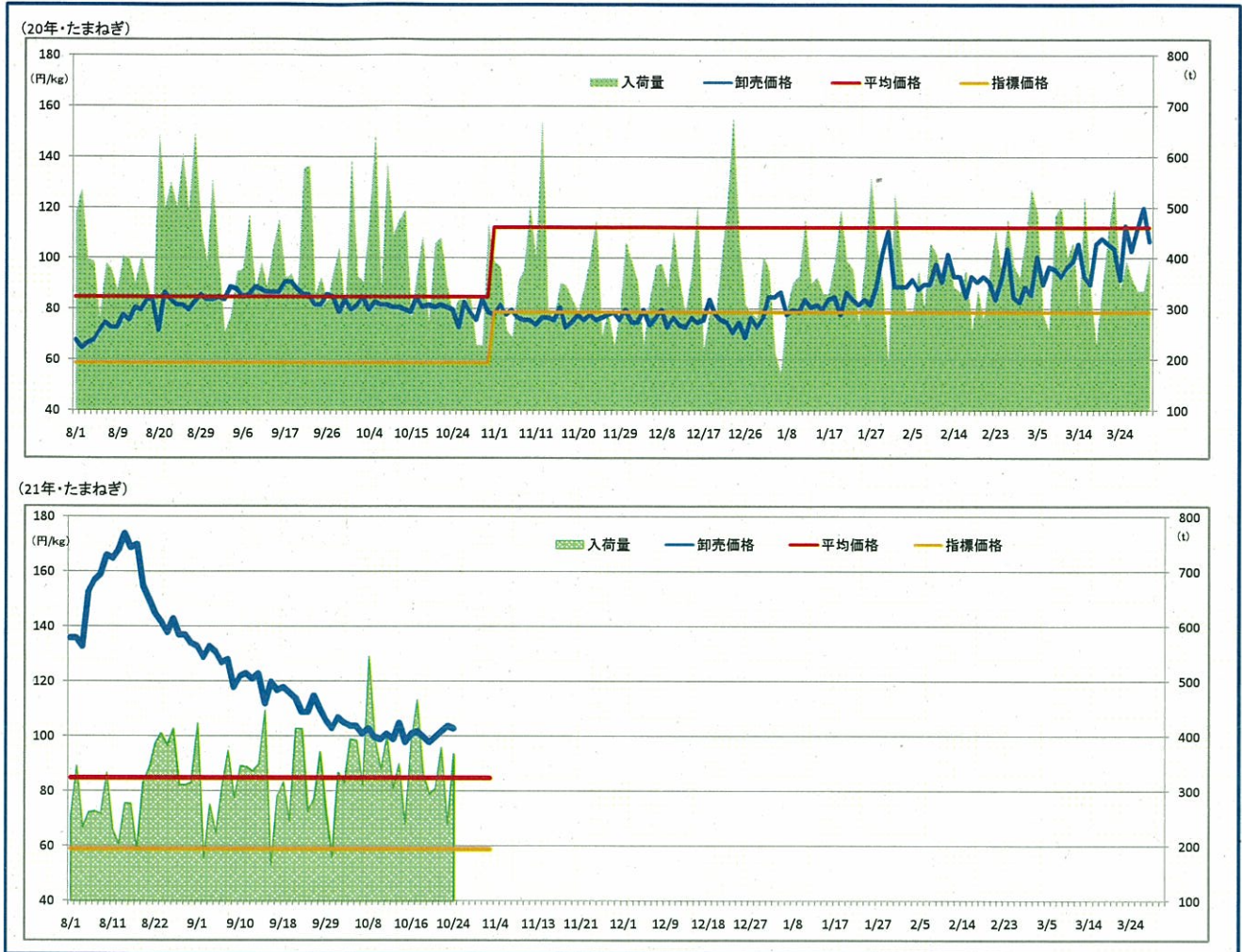


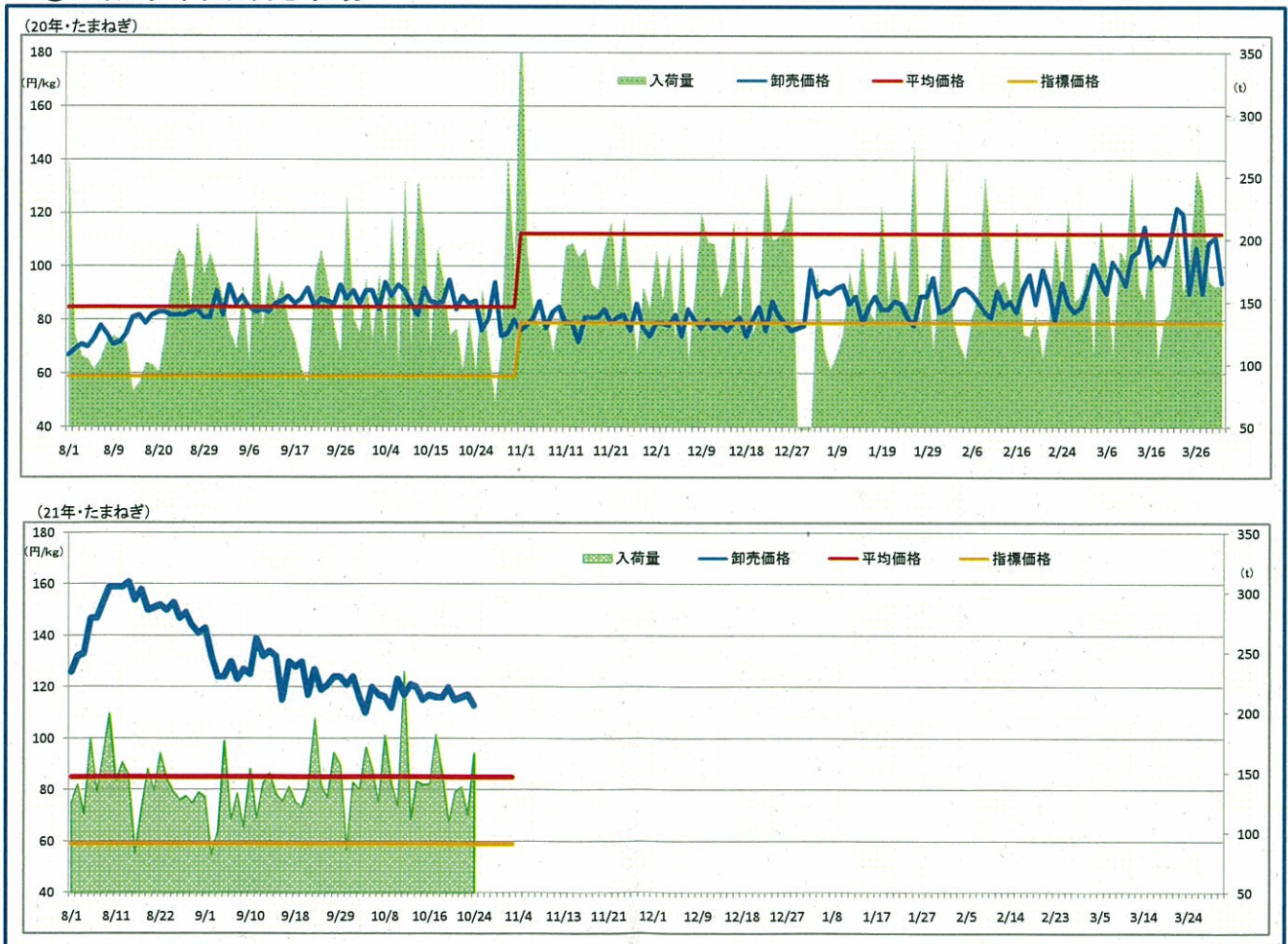
## たまねぎ(11月～4月)の需給・価格見通し

# 1. これまでの入荷量と価格の推移

## ① 東京都中央卸売市場



## ② 大阪市中心卸売市場





## 2 生産出荷をめぐる状況

### (1) 供給計画

平成21年のたまねぎ(21年11月～22年3月出荷分)の供給計画によると、全農が2月に策定した当初計画においては、作付面積は対前年比98%(系統共販分)、10アール当たり収量98%を見込み、出荷量は97%としたところである。(※確定計画は10月末に確定)

#### ○当初計画(21年2月時点)

作付面積 (ha)			10a当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比
9,397	9,580	98	5,516	5,616	98	518,315	537,973	96	474,775	488,641	97

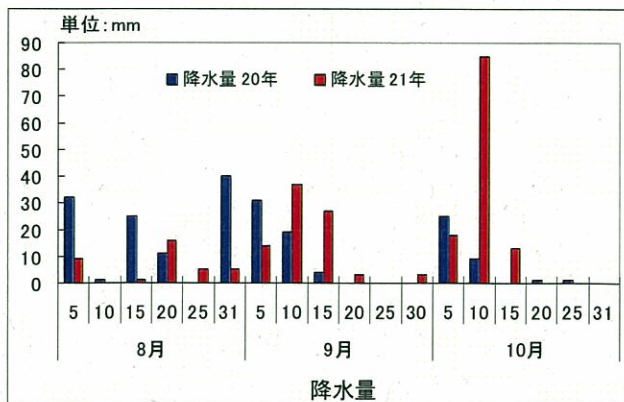
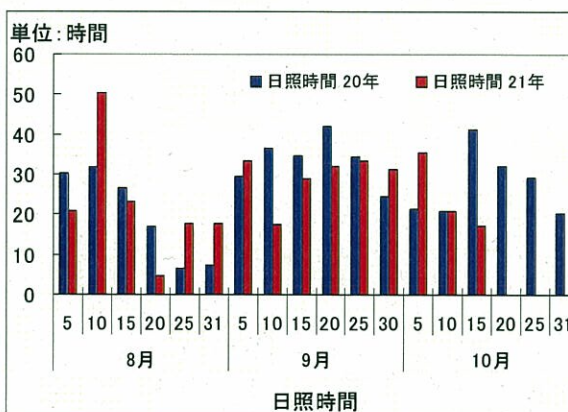
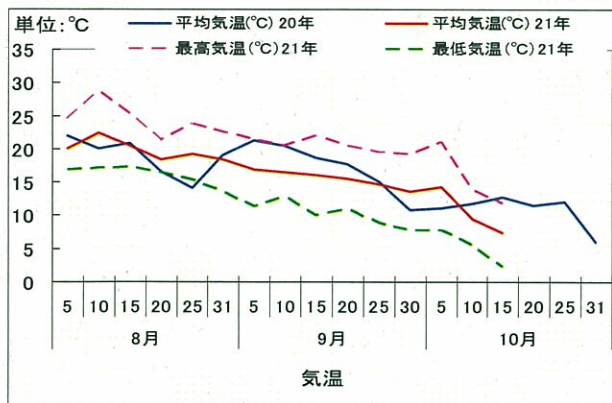
### (2) 生産(生育)・出荷状況

資料3-7のとおり

### (3) 天候

#### ①これまでの気象の推移(北海道 北見) ※収穫作業はほぼ終了

8月以降は気温は概ね前年並みの推移で安定している。日照時間は生育後期の7月は積算の前年比で55%で日照不足であったものの、8月以降は概ね安定しており、8月から9月の積算値で前年比で120%となった。降水量については、7月は多雨で積算前年比で270%であるが、8月以降は少なめで推移し、8月～9月の積算で前年比74%となった。



資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、  
原資料: 気象庁「AMeDAS」

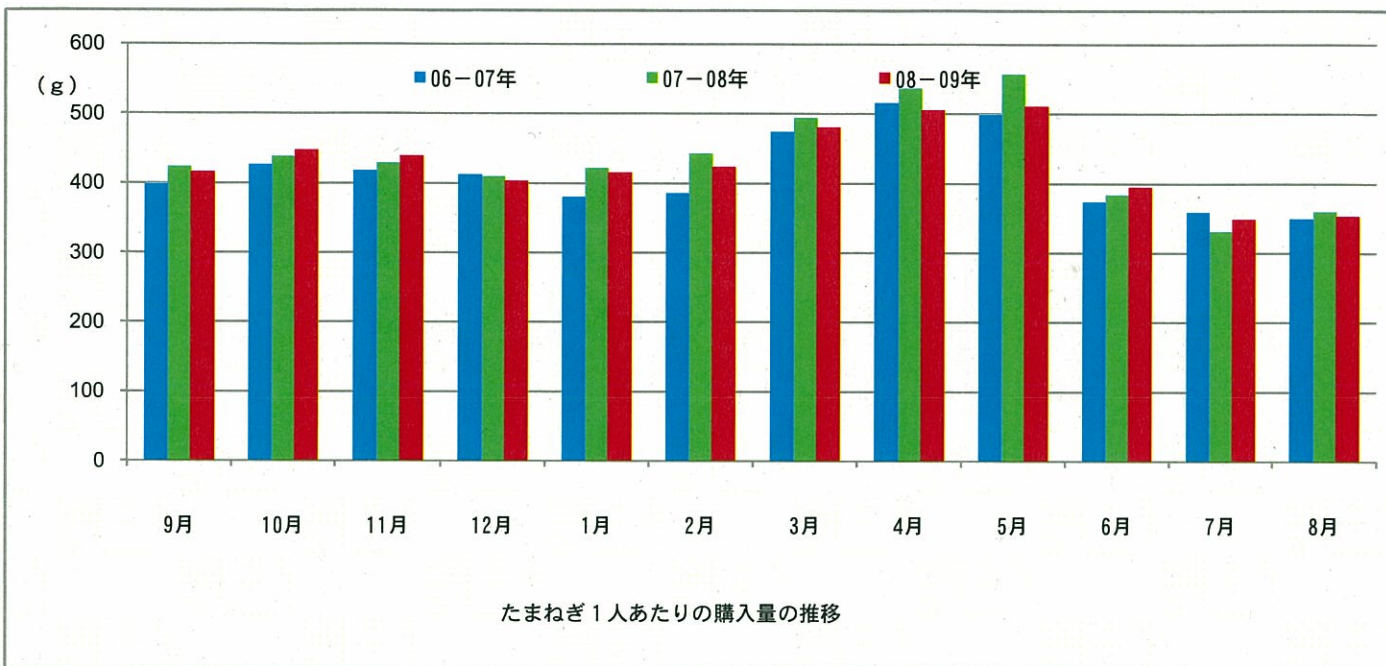


### 3 需要動向（個別品目）

#### (1) 家計消費

##### ① 1人あたり購入数量

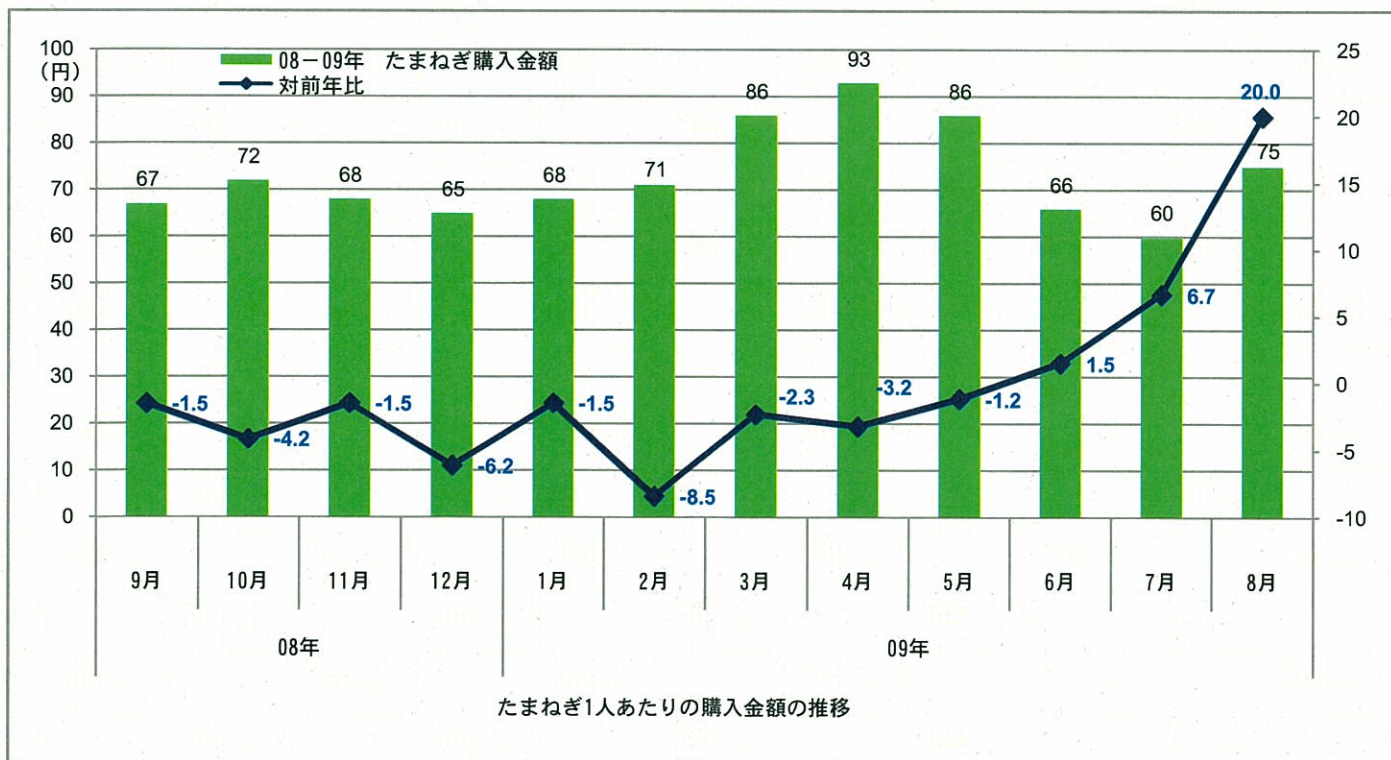
本年は4月～5月に佐賀県産および兵庫県産が小玉傾向・不作であったため、価格が上昇し購入量が前年を下回った。



資料：家計調査報告（総務省）

##### ② 1人あたり購入金額

本年6月～7月は小売価格が横ばい（なだらかに下降）で推移しており、購入数量は前年を超え、金額も前年を上回った。8月は小売価格で前年を大きく上回り、購入数量は若干減少したものの、購入金額は前年を大きく上回った。

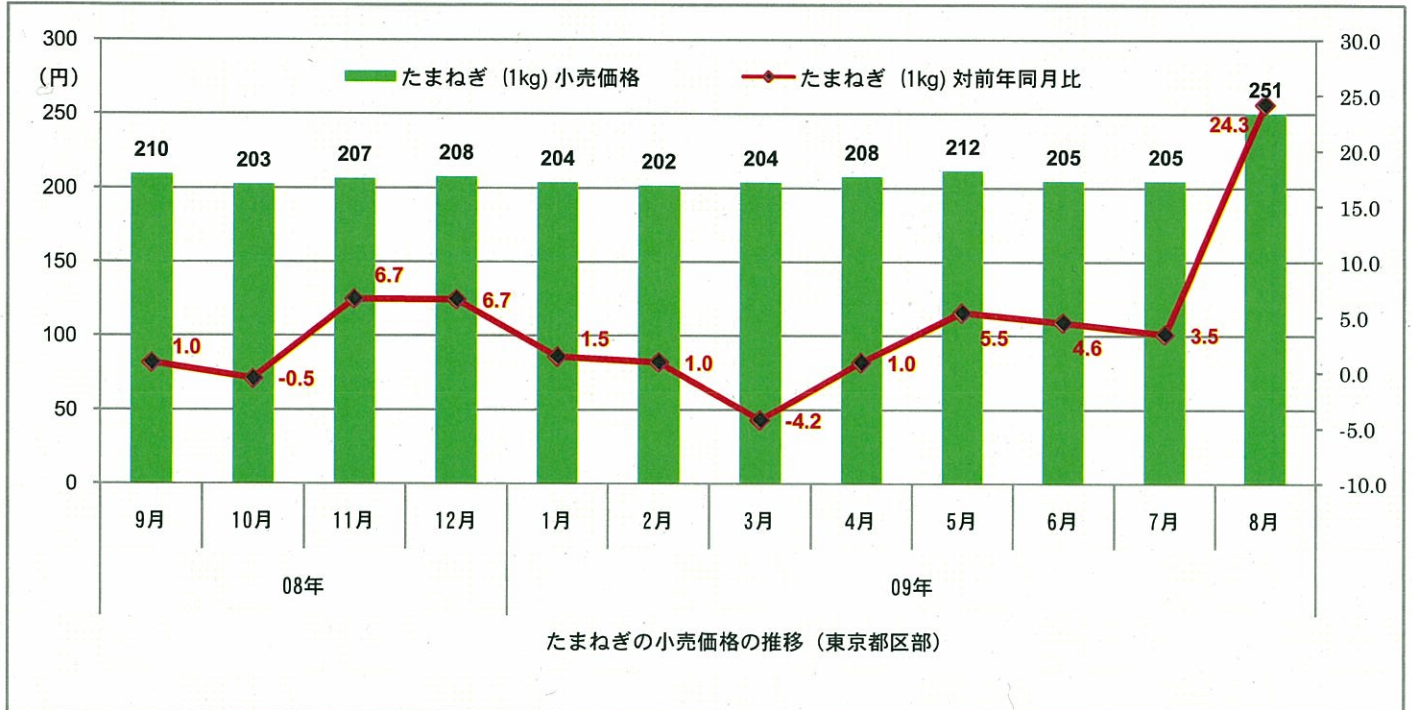


資料：家計調査報告（総務省）

(2) 小売価格(個別品目)

① 小売価格(東京都区部)

新玉葱でみると、本年3月は中心産地である静岡産の潤沢な出回りがあり、価格は低めとなった。5月～7月は後続産地の佐賀・兵庫が不作傾向で卸売り価格は徐々に上昇したが小売価格は横ばい(わずかに下降)で推移した。8月は北海道産の出遅れにより出回量が減少し品薄から卸売価格・小売価格ともピークを形成した。



資料：小売物価調査(総務省)

② 小売価格(全国)

卸売価格と小売価格の連動性などについて検証するため、平成21年7月から当機構による全国的な小売価格の定点調査を開始した。(参考資料3)

なお、本調査結果は、当機構のホームページの野菜情報サイト「ベジ探」中、「野菜の小売実態調査」として公表されている。

(URL: <http://vegetan.vegenet.jp/>)



## ○たまねぎ(11月～3月)の過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量 (t)
S55		
56		
57		
58	2月中旬～3月中旬	3,855
59		
60	11月上旬～2月上旬	24,769
61		
62		
63		
H元		
2		
3		
4	12月下旬	2,137
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13	1月	14,565
14		
15		
16		
17		
18		
19		

## 4. 今後の見通し